

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			3年
科目名	情報処理技術者IV	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	・ 後期	・ 通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期：91時間／後期： 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。		
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題中心に総仕上げを行う。			
目指す検定・資格	経済産業省主催 情報処理技術者試験（基本・応用・高度）			
指導方法及び学生に期待すること	過去問題を中心に、一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。			
その他	なし			
	前期			
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。			
到達目標	情報処理技術者国家試験について合格を目指す。			
成績評価方法	模擬試験結果（20%）本試験結果（75%）出席率（5%）			
テキスト・副読本	過去問題 模擬試験			

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			3年
科目名	サーバーサイドⅣ	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期：60時間 / 後期： 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。		
科目の目的と講義内容	Web フレームワークを用いた実践的なアプリケーション開発手法を学習する。			
目指す検定・資格	サーティファイ Java プログラミング能力認定試験 2 級			
指導方法及び学生に期待すること	座学と実習を組み合わせた複合的な授業展開。学生には課題の取り組みと他者をフォローしあう。			
その他				
	前 期			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ Spring Framework の機能および全体像の把握を目的とした演習を行う。 ・ Spring Framework を用いた Web アプリケーションの実装のチュートリアルを実施し、フレームワークを利用した Web アプリケーションの開発を理解する。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web アプリケーションの仕組み、MVC の仕組みについてについて説明ができる。 			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (95%) 出席率 (5%) で評価をつける。 			
テキスト・副読本	Spring Framework 超入門 -やさしくわかる Web アプリ開発- (技術評論社)			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科		3年
科目名	AI 概論	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊
時間数	前期：40時間 / 後期：時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。	
科目の目的と講義内容	本講義は、AI に関わる様々な基本原理や基礎技術について学習する。これらの技術について理解を深めることにより、AI に関する基礎的な知識や、AI システム開発に必要なソフトウェアに関する知識の習得を目的とする。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	講義および演習中心で行い、基本的な AI に関する専門用語を理解し、説明ができる。また急速に進化する AI 業界において、ニュース等で最新の情報も取り入れることで、新しい知識や技術に興味を持ち、主体的に学べる学生になって欲しい。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI に関する基礎的な知識 ・ AI に関するツールの利用方法 ・ アプリケーションの制作演習 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI に関する基礎的な知識を説明できる。 ・ AI に関するツールが利用できる。 ・ AI 利用アイデアについて検討できる。 		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション（75%）、 ・ 期末試験（20%）、 ・ 出欠席（5%）で評価をつける。 		
テキスト・副読本	授業スライド		

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			3年
科目名	クラウドコンピューティング	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期：38時間 / 後期： 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。		
科目の目的と講義内容	現役エンジニアを講師として招聘し、近年システム開発において主流になっている、クラウド環境の活用技術について、用語の理解と活用の手段を理解することを目的とする。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	講義と演習を通してクラウドコンピューティングについて理解をする。また、演習では各自主体的に役割をもち積極的に参加することを期待する。			
その他				
	前 期			
授業の概要	講義と演習を通してクラウドの代表的な環境である AWS を中心とした技術についての理解と活用法を習得する。			
到達目標	EC2、RDS などの主要な AWS の機能に関する専門用語と関連知識を習得しクラウド開発における仕組みを理解する。また、演習を通じてクラウド環境を用いたアプリケーション開発の技術を身に着ける。			
成績評価方法	試験 60%、演習 25%、プレゼンテーション 10%、出席率 5%で評価をつける。			
テキスト・副読本	図解即戦力 Amazon Web Services のしくみと技術がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科3年		
科目名	PBL 実践	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：161時間／ 後期： 時間	実務経験： ビジネスソリューション企画・立案の実務経験を活かした授業展開を行う。	
科目の目的と講義内容	与えられた課題に対して、学生間でチームを組み、いままで培ったシステム開発の技術を総動員し、課題を解決するプロジェクト演習を実施する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SEとして求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に課題解決にむけて取り組むことを期待する。		
その他			
	前 期		
授業の概要	与えられた業務課題に対し、システムの企画、基本設計、プログラミングの工程までの一連の工程を実施しシステムを完成させる。課題の主体に向けてプレゼンテーションを実施しコンペを行いどのチームの作品が有用か選定する。		
到達目標	・システムの完成、プロジェクトにおける成果の確認		
成績評価方法	制作物 50%、プレゼンテーション 20% レポート 20% 授業態度 5%、出席点 5%		
テキスト・副読本	なし		

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科 3年		
科目名	ビジネスプランニング	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：31時間 / 後期： 時間	実務経験：実務経験：ビジネスソリューション企画・立案の実務経験を活かし、課題解決の最適解を導く思考法と具体的なビジネスモデル検討を指導する。	
科目の目的と講義内容	ユーザ視点でのサービスのニーズ、課題の本質を発見、理解する力を身につける。 新規ビジネスモデル設計のプロセスと PDCA を理解し実践する		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	課題発見型のグループワークを中心とした授業展開とする。 マーケティングの観点からユーザニーズの本質を考える力を身につけてほしい。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ マーケティングの概念や基本 ・ マーケティングプロセス ・ 使用するツールと方法 ・ マーケティングの果たす役割 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題やニーズを発見し、その本質を把握し、解決に導くためのクリエイティブな考え方ができるようになる 		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスプランプレゼンテーション (50%) 課題提出 (40%) 授業態度 (5%) 出席率 (5%) で評価する。 		
テキスト・副読本	なし		

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科		3年
科目名	ビジネス実務Ⅳ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊
時間数	前期：26時間／ 後期：時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生が社会人として相応しい知識、マナーを理解できるように講義する。	
科目の目的と講義内容	システムエンジニアとして求められる心構えや、必須のビジネススキルである、ビジネスフレームワークや、プロジェクトマネジメントについて触れ、ツールや考え方の概要を掴み、実践を通じて理解する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	座学中心だが、一部演習を通じて実体験を持って理解が深まる授業展開を行う。就職した後に、実際に現場に出る上で常識となる考え方や用語を理解して社会でその力を遺憾無く発揮できるようになることを期待する。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ SE の仕事内容、職種、仕事の全体像を掴む ・ ビジネスモデリングおよびコンサルティングツールの使い方 ・ ソフトウェアエンジニアリングに求められるスキル ・ プロジェクトに必要なリーダーシップとチームワーク ・ プロジェクトマネジメントスキル ・ SE として求められるヒューマン系スキル ・ SE としての自覚と心構え 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ SE としての必要なマネジメントスキル、ヒューマンスキルを理解し、PBL などの演習授業の中に取り入れて実践できている。 		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験（95%）出席率（5%）で評価をつける。 		
テキスト・副読本	なし		

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			3年
科目名	卒業研究 I	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期： 時間／後期： 38 時間		実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する	
科目の目的と講義内容	3年間の集大成として、今まで学習したシステム開発に関する知識、スキルを活用し、テーマに沿ったシステムの企画提案及び開発を実施する。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	企画～開発、プレゼンテーションまでをチームで協力して納期までに完成させる。教師は成果物のレビューやアドバイスを行うが、基本的には学生が主体的に開発を完遂させることを求める。			
その他				
	後 期			
授業の概要	卒業研究 1 では、これまでに開発したアプリ、システムについて再レビューを実施、導入、運用フェーズにおける検証を行う。			
到達目標	システム開発の一連の工程を経験することで、開発の要点や独力で開発を進める技術力を身に付け、卒業研究につなげる。また、チームで開発を行うことでチームワークを身に付ける。			
成績評価方法	制作物 50%、プレゼンテーション 20%、レポート 20%、授業態度 5%、出席点 5%			
テキスト・副読本	なし			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			3年
科目名	情報処理技術者V	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	・ 後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期： 時間／後期： 84 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。		
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題中心に総仕上げを行う。			
目指す検定・資格	経済産業省主催 情報処理技術者試験（基本・応用・高度）			
指導方法及び学生に期待すること	過去問題を中心に、一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。			
その他	なし			
	後期			
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。			
到達目標	情報処理技術者国家試験について合格を目指す。			
成績評価方法	模擬試験結果（20%）本試験結果（75%）出席率（5%）			
テキスト・副読本	過去問題、模擬試験			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			3年
科目名	卒業研究Ⅱ	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期： 時間／後期： 216 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する		
科目の目的と講義内容	3年間の集大成として、今まで学習したシステム開発に関する知識を集結し、テーマに沿ったシステム企画提案及び開発を実施する。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	企画～開発、プレゼンテーションまでをチームで協力して納期までに完成させる。教師は成果物のレビューやアドバイスを行うが、基本的には学生が主体的に開発を完遂させることを求める。			
その他				
	後 期			
授業の概要	卒業研究Ⅱでは、システム設計、開発～テスト、プレゼンテーションまでの工程を他学科とのコラボレーションを通じて行う。			
到達目標	システム開発の一連の工程を経験することで、開発の要点や独力で開発を進める技術力を身に付け、卒業研究につなげる。また、チームで開発を行うことでチームワークを身に付ける。			
成績評価方法	制作物 50% プレゼンテーション 20% レポート 20% 授業態度 5% 出席点 5%			
テキスト・副読本	なし			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科		3年
科目名	ビジネス実務V	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期・後期・通年	担当教員	藤井 克俊
時間数	前期：時間／ 後期：19時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生が社会人として相応しい知識、マナーを理解できるように講義する。	
科目の目的と講義内容	システムエンジニアとして求められる心構えや、必須のビジネススキルである、ビジネスフレームワークや、プロジェクトマネジメントについて触れ、ツールや考え方の概要を掴み、実践を通じて理解する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	座学中心だが、一部演習を通じて実体験を持って理解が深まる授業展開を行う。就職した後に、実際に現場に出る上で常識となる考え方や用語を理解して社会でその力を遺憾無く発揮できるようになることを期待する。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ SE の仕事内容、職種、仕事の全体像を掴む ・ ビジネスモデリングおよびコンサルティングツールの使い方 ・ ソフトウェアエンジニアリングに求められるスキル ・ プロジェクトに必要なリーダーシップとチームワーク ・ プロジェクトマネジメントスキル ・ SE として求められるヒューマン系スキル ・ SE としての自覚と心構え 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ SE としての必要なマネジメントスキル、ヒューマンスキルを理解し、PBL などの演習授業の中に取り入れて実践できている。 		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験（95％）出席率（5％）で評価をつける。 		
テキスト・副読本	なし		

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科		3 年
科目名	ユーザーマネジメント	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期： 時間 / 後期： 15 時間	実務経験：ビジネスソリューション企画・立案の実務経験を活かした授業展開を行う。	
科目の目的と講義内容	ユーザ指向の基礎理解とユーザリサーチ手法の導入、フィードバックの収集及び分析手法の活用を通じて、ユーザ中心設計の本質を理解する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	課題発見型のグループワークを中心とした授業展開とする。 顧客目線での開発の重要性を理解してほしい。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザ指向とマルチデバイス化 ・ ユーザが求める UI・UX とは ・ ユーザ指向の本質 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザ志向の本質を把握し、解決に導くためのクリエイティブな考え方ができるようになる 		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験（50%） 課題提出（40%） 授業態度（5%） 出席率（5%） で評価する。 		
テキスト・副読本	なし		